

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 53番
- *交読文 11番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 175番
- 礼拝のための祈り 働き人 川合ゆきえ
- 賛美 485番
- メッセージ ハガル - サライの女奴隷(創世記 16:1-16)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 347番
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈禱課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- 終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

信仰とは、望んでいる事がらを確認し、まだ見ていない事実を確認することである。(ヘブル 11:1)

このように、___は、信仰によって義とされたのだから、___の主イエス・キリストにより、神に対して平和を得ている。___は、さらに彼により、いま立っているこの恵みに信仰によって導き入れられ、そして、神の栄光にあずかる希望をもって喜んでいる。それだけではなく、患難をも喜んでいる。なぜなら、患難は忍耐を生み出し、忍耐は錬達を生み出し、錬達は希望を生み出すことを、知っているからである。そして、希望は失望に終ることはない。なぜなら、___に賜わっている聖霊によって、神の愛が___の心に注がれているからである。(ローマ 5:1-5)

「___は、柔和なら 幸いである、地を受け継ぐから。」(マタイ 5:5)

前回の箇所で、主はアブラムの子孫を、空の星のように数多くすると仰せられ、燃える炉として現れてその約束の確かな事を示されたが、それでも、すぐに子が与えられる、というわけではなかった。主ははっきりと「あなたから生まれる子がこの地を継ぐ」と仰せられたのに、中々子が与えられない。サライはその事に焦りを感じたのか、女奴隷を自分の身代わりとして主人に子を産ませ、それを正妻の子としようという”当時の風習”を用いて、神の未だ成就されていない約束を「こじつけ」的に補完しようと提案した。アブラムは、サライのその提案に、乗ってしまった。神の言葉に身勝手な解釈を施し、それを夫に薦めて、夫の方は、神より妻の声を優先させてしまう。ここにアダムとエバの失敗と同じパターンを見る。このパターンは、後々、苦い根が長くつきまとうものだ。

サライは「たぶん」と言った。世では皆もやっているからと、軽く考え、それがいかに主の力を無視する行為か、また、実際ハガルが身ごもった時、自分がどんな惨めになるか、あまり考えていなかったかもしれない。実際、女奴隷ハガルは、すぐに身ごもった。そしてハガルは、女主人であるサライを見下げるようになった。サライは、女として、若さや子を宿す力など多くの面で、ハガルに劣っている事が、浮き彫りにされてしまい、ますます惨めになってしまった。彼女は、世の解決法に従って行動してしまった結果、世の価値基準に従って嘲られ、世の側から見下げられてしまったのだ。自分由来の何かに頼る事を「肉のわざ」と言うが、彼女がそれに頼った結果、「ねたみ、敵意、争い、そねみ、怒り、利己心、不和、仲間争い」という肉の実(ガラテヤ 5:19-21)が見事、結ばれてしまったのだ。御国の子らが、御国の方法を退け、世の方法・肉の方法に服従するなら、やがてはそれによって見下され嘲られてしまうものだ。世の子らは、世の事については、光の子らよりも抜けめがないからだ。(ルカ 16:8)サライは言った。『わたしが受けた害はあなたの責任です。わたしのつかえめをあなたのふところに与えたのに、彼女は自分のはらんだのを見て、わたしを見下げます。』(5節)サライが考案して勧めておきながら、アブラムのせいにするのは不当と思うかもしれないが、確かに彼にも責任がある。妻が御言葉を「超」解釈して薦めてきたなら、主人たる者は、御言葉を根拠に妻をたしなめなくてはならないし、また、女奴隷が正妻を押しつけるような「管理不行き届き」は、容認すべきでない。『アブラムはサライに言った、「あなたのつかえめはあなたの手のうちにある。あなたの好きなように彼女にしなさい」。そしてサライが彼女を苦しめたので、彼女はサライの顔を避けて逃げた。』(6節)アブラムが受胎を聞いた時は、彼には喜びだったかもしれない。しかし、肉に由来する幸いは、ほんのつかの間であり、結局、人間由来の思いつきは、そこにいる全ての人に、苦々しい思いをさせるだけなのだ。

ハガルは、シュル(エジプト方面)へ逃げていく途上、主の使いに見つけられ、声をかけられる。「”サライの女奴隷ハガル”よ。あなたはどこから来て、どこへ行こうとしているのか。」主の使いは、ハガルに「サライの女奴隷」と呼び、彼女の本来の立ち位置を思い起こさせたのだろう。彼女は「”私の女主人サライ”のところから逃げている所です」と、身をおきまえた、正しい答えをした。主の使いは、あなたの女主人の元に帰り身を低くしなさいと諭し、そればかりでなく「あなたの子孫は大いにふやす」と、祝福の約束まで与えられた。柔和な者、身を低くしへりくだる者は、地を相続する。私達も、立つべき立ち位置はどこか、本来仕えるべきお方は誰かを、正しく受け入れ、告白するなら、祝福をいただける。しかし、アダムやカインのように、自分のよかれを主張し、他人を訴えるなら、呪われてしまう。主は、生まれて来る子に、イシュマエル(「神は聞かれる」の意味)という名をつけるよう命じられた。そしてハガルは、主を、「あなたはエル・ロイ(神は見ておられる)」と呼んだ。荒野で学んだ彼女は、主の言葉どおり、本来あるべき立場・本来あるべき女奴隷としての態度に戻った。戻った時、彼女は、この荒野での出来事を、アブラム達に報告しただろう。そして夫婦ともども、「エル・ロイ(神は見ておられる)」「イシュマエル(神は聞かれる)」という名を聞き、自分の身勝手を恥じ入っただろう。結局の所、今回の騒動は、サライやアブラムの身勝手な判断と行動から出たのだが、その全てを超えて、主は生きておられる方、見ておられ、聞いておられるお方であると、ハガルを通して教えられたのだ。肉的なやりくり頼らず、ただ主に信頼し、過ち無く歩む皆さんでありますように！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報

集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

日曜礼拝

1部礼拝	10:30
食事/フェローシップ	12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有)	14:00
聖書の学び会(詩篇)	15:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会	5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会	13:00～
火～木 夜の祈祷会	19:30～

水曜集会

1部	13:00～
2部	19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町 2-17 ストックタワー大通公園I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト

